



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月13日

上場会社名 株式会社イノベーションホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 3484 URL https://www.ihd.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原 康雄  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部管掌 (氏名) 志村 洋平 TEL 03-6274-8733  
配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	12,462	18.4	1,057	46.8	1,084	42.5	724	39.5
2024年3月期第3四半期	10,521	6.6	720	△29.6	761	△28.6	519	△28.9

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 723百万円 (39.2%) 2024年3月期第3四半期 519百万円 (△28.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	43.18	-
2024年3月期第3四半期	30.87	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有していないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	14,561	3,711	25.4
2024年3月期	13,697	3,324	24.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 3,705百万円 2024年3月期 3,316百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	20.00	20.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,657	16.8	1,228	26.1	1,250	23.6	832	24.9	49.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	17,674,400株	2024年3月期	17,674,400株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	900,608株	2024年3月期	900,608株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	16,773,792株	2024年3月期3Q	16,821,076株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3 「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果もあり、企業収益及び雇用情勢には総じて改善傾向が、個人消費には持ち直しの動きがみられました。先行きについては、主要国における金融引き締めの影響や、中国経済の先行きが懸念されるなかで、海外景気の下振れ、物価上昇、米国の政策動向、金融資本市場の変動、地政学的なリスクもあり、不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く環境について、外食業界においては、円安に後押しされたインバウンドを含む人流の増加によって都市部や観光地を中心に売上高が伸長した一方で、利益面は原材料と光熱費の高騰に加え、国内消費者の節約志向、一部では人手不足による営業の機会損失もあり、厳しさの残る状況となりました。また、飲酒業態においては、中小規模の宴会が増加し、遅い時間帯の来客と大規模宴会需要も徐々に戻りつつあるものの、店舗数の減少も影響し、回復に遅れがみられました。東京主要地域の不動産市況については、インバウンド需要回復の恩恵を受ける地域を中心に、出店増と一部賃料の上昇が確認できる一方で、固定費が膨らむ大型の店舗物件、ブランド力に乏しい駅外周部等の店舗物件については、出店需要に弱さが残る状況となりました。

このような環境のなかで、当社グループが展開する店舗転貸借事業においては、旺盛な個人・小規模飲食事業者の出店需要に対応した「好立地」「小規模」「居抜き」店舗物件の積極的な仕入れと共に、リーシングの全体最適化に向け一気通貫型から業務別分業型への体制移行をおこないました。また、営業力向上に向けた採用及び教育の強化を実施しました。不動産売買事業においては、会社設立を契機に組織力・営業力を強化し、積極的な情報収集と顧客開拓に注力すると共に、店舗転貸借事業との連携による既存転貸物件の売却情報取得を継続しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高12,462,427千円（前年同四半期比18.4%増）、営業利益1,057,473千円（同46.8%増）、経常利益1,084,700千円（同42.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益724,349千円（同39.5%増）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、各報告セグメントの費用の配分方法を変更しております。

以下の前第3四半期連結累計期間との比較分析について、前第3四半期連結累計期間のセグメント利益は変更前の測定方法によっております。詳細については（セグメント情報等の注記）をご覧ください。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①店舗転貸借事業

当第3四半期連結累計期間における新規契約件数及び後継付け件数（閉店した店舗に対し新規出店者と転貸借契約を締結したもの）の転貸借契約件数の合計は344件（前年同四半期比1.7%減）となりました。また、当第3四半期連結会計期間末における転貸借物件数は前連結会計年度末より180件純増し、合計2,625件となりました。この結果、店舗転貸借事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高11,171,525千円（前年同四半期比11.2%増）、セグメント利益926,563千円（同44.9%増）となりました。

なお、株式会社セーフティーイノベーション（旧店舗セーフティー株式会社）が営む店舗家賃保証事業の収益は、店舗転貸借事業のセグメント収益に含んでおります。

#### ②不動産売買事業

当第3四半期連結累計期間においては、経済社会活動の正常化に伴い、都心の事業用不動産においては値上がり傾向も見られるなかで6物件を売却、8物件を取得し、当第3四半期連結会計期間末における保有物件数は6件となりました。この結果、不動産売買事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,290,902千円（前年同四半期比170.0%増）、セグメント利益は130,909千円（同61.2%増）となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ864,555千円増加し、14,561,867千円となりました。これは主に差入保証金が316,488千円、現金及び預金が230,489千円、販売用不動産が202,399千円それぞれ増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ476,975千円増加し、10,850,244千円となりました。これは主に預り保証金が247,560千円、前受収益が99,762千円それぞれ増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ387,580千円増加し、3,711,622千円となりました。これは主に利益剰余金が388,873千円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想については、2024年5月13日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細については、2024年11月13日公表の「2025年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,331,233	3,561,722
販売用不動産	823,765	1,026,165
前払費用	1,195,477	1,278,363
その他	129,281	182,391
流動資産合計	5,479,757	6,048,642
固定資産		
有形固定資産	676,760	643,763
無形固定資産	31,165	33,589
投資その他の資産		
差入保証金	6,841,860	7,158,349
その他	667,767	677,523
投資その他の資産合計	7,509,628	7,835,872
固定資産合計	8,217,554	8,513,224
資産合計	13,697,311	14,561,867
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払法人税等	162,074	180,696
賞与引当金	39,453	58,169
前受収益	1,515,682	1,615,444
その他	674,587	682,333
流動負債合計	2,391,797	2,536,643
固定負債		
退職給付に係る負債	37,000	44,000
預り保証金	7,506,961	7,754,521
その他	437,509	515,079
固定負債合計	7,981,471	8,313,601
負債合計	10,373,269	10,850,244
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	308,394	308,394
資本剰余金	539,930	539,930
利益剰余金	3,547,222	3,936,096
自己株式	△1,078,830	△1,078,830
株主資本合計	3,316,717	3,705,590
新株予約権	2,358	2,358
非支配株主持分	4,967	3,674
純資産合計	3,324,042	3,711,622
負債純資産合計	13,697,311	14,561,867

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	10,521,694	12,462,427
売上原価	8,663,792	10,090,821
売上総利益	1,857,901	2,371,605
販売費及び一般管理費	1,137,406	1,314,132
営業利益	720,495	1,057,473
営業外収益		
違約金収入	22,599	32,981
受取補償金	49,144	5,799
その他	6,825	2,910
営業外収益合計	78,570	41,691
営業外費用		
支払補償費	23,041	7,269
控除対象外消費税等	8,144	7,193
その他	6,668	-
営業外費用合計	37,853	14,463
経常利益	761,212	1,084,700
税金等調整前四半期純利益	761,212	1,084,700
法人税等	241,940	361,645
四半期純利益	519,272	723,055
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△1,293
親会社株主に帰属する四半期純利益	519,272	724,349

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	519,272	723,055
四半期包括利益	519,272	723,055
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	519,272	724,349
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△1,293

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する事項

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	店舗転貸借事業	不動産売買事業			
売上高					
外部顧客への売上高	10,043,541	478,152	10,521,694	-	10,521,694
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	10,043,541	478,152	10,521,694	-	10,521,694
セグメント利益	639,273	81,222	720,495	-	720,495

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する事項

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	店舗転貸借事業	不動産売買事業			
売上高					
外部顧客への売上高	11,171,525	1,290,902	12,462,427	-	12,462,427
セグメント間の内部 売上高又は振替高	530	4,439	4,969	△4,969	-
計	11,172,055	1,295,342	12,467,397	△4,969	12,462,427
セグメント利益	926,563	130,909	1,057,473	-	1,057,473

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、持株会社体制移行に伴い、全社費用の配分方法を変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の測定方法により作成することが実務上困難であるため、変更前の測定方法に基づき作成したものを記載しております。当該変更に伴い、従来の方法に比べて、「店舗転貸借事業」のセグメント利益が10,784千円増加、「不動産売買事業」のセグメント利益が10,784千円減少しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	34,573千円	41,076千円